

富山県議会議員

た き だ こう き ち
瀧 田 孝 吉

活動レポート / 2024 年（令和 6 年）1 月発行

KOUKICHI TAKIDA

Prefectural Government Report

ツナグ
ミライ
へ



ごあいさつ

皆様方にはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年中は大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

まず、元日の能登半島地震では県内でも多くの被害が発生しました。被災された方には心からお見舞い申し上げますとともに、速やかな復旧に向けて全力で取り組みたいと思います。

さて、おかげさまをもちまして県議会議員としての歩みをスタートさせていただいてから約9カ月が経過いたしました。この間、臨時会1回と定例会が3回行われ私は本会議での一般質問(6月定例会)と予算特別委員会(11月定例会)で登壇させていただきました。また所属している地方創生産業常任委員会や企画財務部会をはじめ各委員会等においても「新人らしく元気にハツラツと」を意識しながら質問や発言をさせていただきました。その他、県内外での視察や研修会・勉強会、意見交換会あるいは要望・陳情対応等の活動に精一杯取り組んできましたが、あまりにも早く過ぎていく毎日の中で県議会議員としての自分のペースがなかなか掴めないというのが正直なところでもあります。しかし、コロナを経ての新しい時代において私たちが抱えている様々な問題、例えば人口減少・少子高齢化に伴う多方面での人材不足や物価高騰対策あるいは頻発化、激甚化している自然災害に対する備え、さらには教育、医療、福祉、産業、観光等々、多種多様な地域の課題解決や未来に誇れる地域づくりに対して取り組みを進めさせていただいています。

今後も初心を忘れることなく、皆様の想いを「つなぎ」地域を「まもり」未来を「つくる」ために誠心誠意そして全力で議員及び議会活動に邁進してまいります。今後とも倍旧のご指導ご鞭撻と温かく力強いご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和6年辰年が皆様にとって健康で幸福な年でありますよう心からご祈念申し上げます。



今回初当選した10名の党派内訳は自由民主党9名、公明党1名です。そして最大会派「自由民主党富山県議会議員会」には私を含む8名が所属することになりました。会派の中には期別に通称があり我々1期生は激論?!の末「**うさぎとカメ**」と名付けました。理由には当選年が兎年だったことにちなみ、うさぎのように駆け回りスピード感を大切にしつつ、時にはカメのようにじっくりと落ち着いて物事に取り組んでいこう!という想いを込めました。

昨年はそれぞれの地元へ視察に行き県内各地での街頭活動を行いました。今年も精力的に活動していきます。



これから県議会議員として活動する上で、各議員連盟および調査会に参加し多岐にわたる分野において見識を深め人間力を高め精力的に活動していきます。

超党派の議員連盟

- ・日中友好議連
- ・日韓友好議連
- ・スポーツ振興議連
- ・山村振興議連
- ・砂防事業促進議連
- ・拉致議連
- ・観光振興議連
- ・日台友好議連

自民党の議員連盟

- ・日露友好議連
- ・自衛隊支援議連
- ・西部活性化議連
- ・スカウト議連
- ・オイスカ議連
- ・看護議連
- ・宅地建物等振興議連
- ・MOA議連
- ・商工会議連

自民党調査会

- ・雇用問題調査会
- ・医療問題調査会
- ・農業問題調査会
- ・薬業問題調査会
- ・都市問題調査会
- ・私学支援調査会
- ・水産問題調査会
- ・中山間地域振興調査会
- ・消防調査会
- ・富山湾未来創造調査会
- ・人口減少問題調査会

それぞれの活動には議会事務局また会派控室事務の方々にもご協力いただいています。ありがとうございます。

令和 5 年 6 月定例会 » 一般質問 (3 つのテーマで 13 問)

《問 1. 新しい時代の県政ビジョンと市町村との連携による県勢発展について》



富山県総合計画は策定から 5 年が経過したが、計画の見直しについてどのように考えているのか？

A 県の現行の総合計画は、県政運営の中長期的指針、事業立案の基本方針であり計画期間は令和 8 年度までである。一方で、総合計画を補完するものとして昨年の 2 月に成長戦略を策定した。現在、成長戦略の取組みを着実に進めるため、6 つの戦略の柱ごとにプロジェクトチームを設置し着実に取組を進めている。成長戦略の取組みを着実に進めていく中で明らかとなった成果や課題、社会情勢の変化などによる影響なども検証してまいりたい。

【答弁者：知事政策局長】



市町村が最上位計画を策定する際、県総合計画や各施策の方向性等を共有すべきと考えるが所見を伺う。

A 市町村の総合計画等の策定に当たっては、地域の特性や地域課題も踏まえ、特色ある計画が策定されることが基本であると考えているが、県と市町村がビジョンを共有して取り組むことが大変重要であることから、要請に基づき関係職員を担当委員会等に派遣していることもある。今後も県と市町村が対話を密にして連携協力しながら、ワンチームで取り組んでまいりたい。【答弁者：知事】



《問2. 子育て支援の推進について》



首都圏等で開催する移住・定住イベントや就職、起業セミナー等と連携した複合型のマッチングイベントを開催しては？



県外で開催する各種イベントや県出身者等からなるデジタルコミュニティの参加者に対して、とやまマリッジサポートセンター（アドア）等でのイベントの情報を積極的に提供したい。今後は県内のみならず県外在住者もターゲットに民間団体や市町村、関係機関と連携しながら多様な出会いの場の創出に取り組んでまいりたい。【答弁者：知事】



子育て中の女性が適度にリフレッシュできるよう、家事や育児への負担軽減をより一層図るべきでは？



子育て支援においては親や保護者の心身の休養やリフレッシュする時間の重要性に対する意識も必要であると考えており、市町村と連携しながら子育てサービスを利用しやすい雰囲気の醸成を図るとともに、各種子育て支援施策を推進してまいりたい。【答弁者：こども家庭支援監】

《問3. 観光振興について》



県内へのクルーズ客船誘致に向け、各港の特色を踏まえたポートセールスが必要だと考えるが所見を伺う。



クルーズ客船誘致には伏木富山港を構成する富山港、富山新港、伏木港それぞれの特色を踏まえたうえで、効果的な誘致活動を実施していくことが大切と考えている。中・小型船が接岸可能な富山新港の海王岸壁については、海王丸パークや、新湊大橋、「日本のベニス」と称される新湊内川地区に近いこと、22万トン級の大型船が接岸可能な伏木港の万葉岸壁については、国宝勝興寺や高岡の山町筋、ひみ番屋街などに便利なこと等が挙げられる。今後とも港湾所在市等とも連携しながらクルーズ客船の寄港増加に向けた誘致活動に積極的に取り組んでまいりたい。【答弁者：地方創生局長】



呉西地域は世界遺産や国宝といった観光名所に加え、全国的にも有名な海の幸など多彩な観光資源を有している。呉西エリアでの滞在・体験型観光を一層推進すべきでは？



県の体験型観光販売サイト「VISIT 富山県」では約40の呉西地域における体験型商品を販売している。また、滞在周遊の課題となっている二次交通について世界遺産バスやぶりにバスなどの運行を支援してきている。黒部宇奈月キャニオンルートが全国から注目されているが、本県が選ばれ続ける観光地となり呉西地域や県内全域で広く滞在、周遊できるよう市町村等と連携して取り組んでいく。【答弁者：知事】

令和5年 **11** 月定例会 » 予算特別委員会（3つのテーマで12問）

《問1. 地域防災力の向上について》



7月の豪雨時に県としては39年ぶりに災害対策本部を設置されたが、対応についてどう認識し今後に向けた課題についてどのように捉えているのか？



令和4年10月に供用開始した防災危機管理センターで初となる災害対策本部を設置し4回にわたる災害対策本部会議を行い、被害状況の把握と応急対策を実施した。新たに導入した映像情報システムが十分に活用できなかった反省があり今後に向けセンター施設や設備の有効活用や市町村への情報連絡員の派遣等について検討してまいる。【答弁者：知事】



消防団員確保対策の一環である「消防団応援の店」について協力いただける事業所の拡大に向けて市町村と連携するとともに、県有施設において優遇サービスを提供しては？

A

県内では13市町の746店舗・団体が「消防団応援の店」として登録してくださっている。県ではパンフレット作成等で制度の周知と支援に取り組んでいるほか、県有施設では海王丸パークで乗船料の割引を実施しているが他の県有施設においても市町村の意見を聞き要望に応じて協議してまいる。【答弁者：危機管理局長】



消防屯所と公共施設の併設による機能複合化について地域防災力強化の観点から関心が高まっている中で、県として支援するべきと考えるが所見を伺う。

A

県内数カ所において消防屯所と公民館の併設事例がある。自主防災組織との連携強化や地域防災力の向上に有効との見方はあるがメリットデメリットについて他県の先行事例も踏まえ情報収集してまいる。また市町村からの相談に対しては情報提供等、関係部局と連携してまいりたい。【答弁者：危機管理局長】

《問2. 安全・安心な地域づくりについて》



時代の流れに伴い変化する犯罪への対策に適切に取り組むべきと考えるが、対策の現状は？

A

昨今、特殊詐欺やサイバー犯罪といった加害者と被害者が対面しない犯罪の増加や闇バイト等を通じて安易に犯罪に加担するケースも増え警察が対処する事案は複雑化、多様化している中で、サイバー空間での対処能力の強化や各種犯罪への戦略的な対応に加え装備資機材の整備、初動対応能力の強化や自動化技術の活用等により安全安心な地域を目指してまいる。【答弁者：警察本部長】



地域住民の安全安心の拠点づくりに向けて交番や駐在所を改築するにあたり、消防・防災施設等の公共施設と一体的な施設として整備してはどうか？

A

交番・駐在所と公共施設等との一体的な整備は警察、消防また市町村との連携強化また地域住民の利便性の観点から意義があると考えます。他県の先行事例も参考にしながら県内市町村と情報共有の上、複合施設整備の実現を考えてまいる。【答弁者：警察本部長】

《問3. 県政を支える方々と作り上げる各種施策について》



ふるさと納税の体験型返礼品を強化すべきと考えるが所見を伺う。

A

体験型返礼品には自然、文化、伝統工芸等を直接体験するプログラムもあり実際に富山県を訪れる体験を提供することは関係人口創出に重要である。今後も、市町村や地元企業と連携し地域の魅力を体験できる取り組みを推進し県の経済活性化と歳入確保に繋げてまいる。【答弁者：知事】



活動の記録

PHOTO LIBRARY



議場（自席にて）



新人議員県内視察（危機管理センター）



地方創生産業常任委員会での初質問



うさぎとカメ街頭活動（氷見市内）



地方創生産業委員会 県外行政視察（福井駅）



企画財務部会 国外先進地視察（デンマーク）



県内視察（入善沖洋上風力発電）



県内視察（利賀ダム）



うさぎとカメ街頭活動（富山駅）



橘慶一郎衆議院議員ミニ対話集会 in 大門大島



地方創生産業委員会 県内視察（富山大学高岡キャンパス）

自民党本部での新入都道府県議研修



富山県議会高校出前講座



（南砺福野高校）

profile

生年月日 1975年7月28日（48歳）
射水市消防団大島分団 部長
自由民主党大島支部 支部長
（一財）富山陸上競技協会 評議員
大門・大島少年野球連盟副会長
富山県商工会壮青年部 理事

2013年11月 射水市議会議員初当選
2017年11月 射水市議会議員（2期目）
2021年11月 射水市議会議員（3期目）
2023年4月 富山県議会議員初当選

会派 自由民主党富山県議会議員会
地方創生産業常任委員会
こどもの未来対策特別委員会
富山県議会議員会 政務調査会 企画財務部会

日々の活動を発信しています。是非ご覧ください！



HOME PAGE



Facebook



X (旧 Twitter)



Instagram

